エッセイ

「野球」は「ベースボール」に勝ったか

SCE·Net 弓削 耕

E-02

発行日 2006.3 .23

第1回のWBC(野球の世界選手権試合、World Baseball Classic というそうです)で一度は諦めかけていた日本が見事に優勝し世界一になりました。3月21日はお彼岸の中日ということもあって日本中が湧きました。オリンピックでイライラし通しで、Football World Cup での世界一などというのは夢のまた夢ですから、日本中の喜びが一気に爆発したような気がします。

この大会はアメリカによるアメリカのためのものであったのに結果が出なかったアメリカの無念さがよく分かります。この勝利を、「野球」が「ベースボール」に勝ったといっていたアメリカのジャーナリストがいました。以前、日本のプロ野球界にいたアメリカ人が「野球」と「ベースボール」の相違について書いていたのを読んだことがあります。内容の詳細は忘れましたが、日本で「野球」をして中身が「ベースボール」とあまりに違うのに驚き、「野球」は「ベースボール」とは全く内容の違ったものと揶揄していたように思います。今回、日本や韓国の野球が強かったのは、守る打つ走るの基本に忠実で細かい野球をし、チームの和も良く取れていたからでしょう。アメリカ・チームは練習不足を差し引いても大砲ばかりで、大味でした。今まで見下していた「野球」を少しは尊敬するようになるでしょうか。

日本のスポーツには柔道、剣道で見られるように、古くから行われているスポーツは、武芸から出発したものも多く、野球も明治時代に始まったので、野球道ということで、道を究めるのが大事な目的になっています。勝負事ですから勿論勝つのも大切ですが、武士道的に刻苦勉励して野球道に励み、道の真髄を知るということなので、練習量は多いし、「和をもって尊しとする」の精神でチームワーク形成にも力を入れます。勝つためには技術力だけでなく精神力も大切なことも学びます。高校野球などは不祥事を起こすと学校全体が罰せられるので、まさに教育の場です。最近はその傾向は薄れて来ましたが、アメリカ人から見ればまだ異様と映るのでしょう。

戦後の野球少年として育ったためか、野球が好きでシーズン中は野球場にもよく足を運びます。試合の応援もさることながら、野球から人生や社会のことを学びます。今回も TV や新聞報道から、かなり貴重なことを学びました。

アメリカの野球もかなりレベルが下がって来ました。チーム数が多い上に、他の国のレベルが上がったのと、アメリカの大リーグも他国の選手に支えられていて、助っ人がいなくなると力が落ちるのが良く分かります。これは世界に活動の場を開放しているアメリカのよい所でもあります。学問や科学の世界も同様で開放された良い環境に学者や科学者が自由に集まり、競争しながら自由に研究し、アメリカ、ひいては世界のために貢献しているので、この点はアメリカの偉大さ、

寛大さが感じられます。今や日本の相撲界も同じで、言うならばウインブルドン 現象です。

その一方でアメリカの横暴も目立ちました。チームの組分けが不可解です。1次リーグは近隣地区のチームの対戦で問題はないですが、2次リーグは少し組合せを変えるべきでした。A組とB組、C組とD組との対戦ではなく、ばらばらにすべきでした。準決勝がまた同じグループでというのは笑止千万です。同じ対戦が3回もあったり、6勝1敗でも余り報われないという妙な現象もありました。思惑は外れましたが、アメリカが比較的弱いA組、B組を相手に決勝まで進むように考えたというのは、あながち的外れではないでしょう。世界の在り方は最強軍事国が決めるというのと一脈通じます。

審判がアメリカ人ばかりというのも国際ルールに外れます。少なくとも審判は対戦チーム以外から選ぶのが常識でしょう。Football World Cup ではそのようなことはあり得ません、先輩のサッカーを見習うとよいと思います。世界の活動のなかで自分は審判国だからと、自分に都合のよい規則でごり押しをするのと良く似ています。また世界で共通のスポーツとするならば使用球やルールは完全に統一すべきでしょう。これは各国の問題です。

その上、審判の技術が拙劣でした。誤審で日本は大事な試合を失いましたが、逆に日本は発奮し、一方天罰が当ってかアメリカは面子を失いました。誤審の主審はアメリカ・マイナーリーグの審判でミスが多いので有名だそうです。これだけ非難されると、もう出てこないかと思っていましたら、次の試合の塁審をしてホームランを認めない失敗を堂々としていました。日本人ならば次の試合は自重するし、同じミスは繰り返さないでしょう。アメリカ人は臆面も無く翌日堂々とグランドに出ています。最近は日本人も図々しい人が増えたので、単純にはいえませんが、日本には恥の文化がありました。この辺も「野球」と「ベースボール」の違いではないかと思います。自分が絶対正しいとする審判は、核兵器がなくても、有ると判定して戦争を起こす思想と共通するところがあるようです。

今度の大会で鈴木・イチローを見直しました。今まで実力は誰もが認めるが、 自分本位で、孤高の人と思われていましたが、今回は自ら先頭に立ち、国際試合 に馴れない選手達を引っ張っていきました。自らを犠牲にしても、日本のために 頑張ろうという気持ちは一番強いようでした。長い海外生活で日本や日本人をア ピールすることの大切さを嫌というほどに感じていたのでしょう。その点は、逃 げまくっていた他の日本人大リーガーとは月とスッポンほどの価値の違いがあり ました。

キューバの国民が、自分達はお金のために野球をやっているのではないから強いのだ、決勝にも勝つといっていたのが印象的でした。年俸総計5億ドルに近いとかいう選手の集団が勝てなかったのは、キューバ国民の気持ちが通じたのでしょう。かって金に任せて大砲を集めたチームがありましたが、あまり勝てなかったのと共通するところがあります。日本人選手も大きなことは言えませんが、プロ選手は金をある程度得るのは認められますが、金、金の社会になって金が全て、

金さえあれば何でも買えるという風潮は好ましくありません。金は適当にあれば、 その範囲内で生活することを考えればよいのです。

それにスポーツマンはスポーツマンらしい服装や格好があると思います。TV の会見などに出るからには世界一に相応しい、格好、態度が必要でしょう。こちらの考えが古いのかも知れませんが、伝統ある日本文化の崩壊を感じます。

これで、今年のペナントレースが盛り上がればよいと思います。マスコミも直ぐ熱くなりますが、冷めるのも早いので、一時的には1日中でも騒ぎますが、ミーハー的な取上げが多く、持ち上げては直ぐ落とす体質が強く、本質をじっくりとみるジャーナリストも稀有になりましたので、今後の動きも心配になります。それにしても、TV も新聞も大リーグの記事、その中で日本人選手のことを真っ先に取上げるのが気に入りません、日本の新聞、TV であれば、日本のことをまず大きく話題にして欲しいと思います。

「ベースボール (Baseball)」を「野球」と訳したのは明治時代の愛媛・松山出 身の子規です。今のドーム野球ではあまりピンと来ませんが、野原で球を追う球 技の様子を適切に表している名訳だと思います。その他にも、明治時代には、 Chemistry を化学に、Physics を物理に、Philosophy を哲学に、Engineering を 工学と訳したり、苦労の跡が窺えますが、今から見るとぴったりとした日本語に なっています。日本語、日本文化を大事にしようという先人方の気持ちが好く分 かり、今後も大事にすべきことだと思います。それに引き換え最近の風潮はどう でしょうか、何でもカタカナで表せばよいということで、英語に忠実な言葉から 意味不明の和製英語まで飛びかっています。「マニフェスト」、「コンプライアンス」、 「サステナブルライフ」などなど、定義や概念を明確にせず分かったふりして使 うので言葉だけが1人歩きし、英語に弱い者にはチンプンカンプンです。横文字 を現代の日本語に上手く訳せないのでしょうか、それともカタカナ、横文字にす ると内容が分かったような気になり、偉くなったような気がするのでしょうか。 これに携帯文化が入ってくると日本語、日本文化はどうなるか心配です。最近、 TV の国会中継で横文字の定義をどう考えるかで揉めていました、レベルの低い 討議でした。日本語をしっかり身につける、声を出して本を読むのが学ぶ力をつ けるのに一番と考えられています、もっと日本語、日本文化を大切にしたいと思 います。

Baseball に限らず、何でもアメリカ様々、イラク問題から BSE、構造改革と称して日本の根幹に関する問題まで、アメリカのポチでは悲しくなります。Baseball にも「野球」と「ベースボール」の考え方、やり方があるように、アメリカの考えややり方が常に正しく、絶対であることはありません。「野球」が「ベースボール」より優れていることもあります。政治にも経済にも、日本の考えをもっと堂々と主張し、世界的な調和を考えながらも、日本は日本なりに国益をしっかりと踏まえて進んでいくことが重要ではないでしょうか。いつの間にか日本式経営は悪く、実力主義万能のアメリカ式経営の方が優れているという風潮になっているのが残念です。日本には日本に合った経営のやり方、考え方、文化があ

ります。そのことを忘れず、日本の国、日本人の現在、未来をもっと真剣に考え たいものです。 何はともあれ、世界一おめでとうございました。

以上

2006.3.23 SCE·Net 弓削耕